

悩み⑤ 3年半不妊で、子宮内膜症、卵巣チョコレート嚢腫と診断されています。妊娠はもう難しいでしょうか。

西口先生の回答

程度にもよりますが、漢方薬の服用によって妊娠することは可能です。漢方の考え方では、子宮内膜症になる原因は、冷えが原因で血流が悪くなっている状態、体内に余分な水が滞っているため血流が悪くなっている状態、気の巡りが悪く血流が悪くなっている状態、腎が弱い体質などです。漢方薬の服用によって、これらの体質を改善し、血流を良くすることによって、妊娠することは十分可能です。子宮内膜症の根本治療にもつながります。実際に子宮内膜症、卵巣チョコレート嚢腫と診断され、長年不妊で悩んでいた方が体質に合った漢方薬の服用によって妊娠されたケースは多いです。



春風漢方薬局 西口 哲平 先生

悩み④ 採卵後受精はするのですが、胚盤胞にならず分割がとまってしまいます。何か方法はありますか？

井上先生の回答

漢方で卵の質を上げることにより胚盤胞到達率は上がります。不妊治療の技術も進みPGSによる染色体のご相談も増えてきました。卵子の側から考えた場合、成長過程に問題がある、卵の大元がよくない、成長・分割のエネルギーが足りないなど、原因に応じた漢方を飲むことで改善が期待できます。ただ受精卵の質は男性側の原因も半分有るため、精子の状態をよくすることで受精卵の質も向上します。最近では精液検査に問題がなくてもDNAの損傷があることがわかってきており、ともに漢方を服用されることでより改善が期待できます。



漢方薬局 柚花香房 井上 貴文 先生

悩み③ 精子の数が少ないと診断された場合、体外受精するしかないのでしょうか？ また、精液検査は一度で充分でしょうか？

山下先生の回答

男性不妊の原因も様々ですので、まずは男性不妊外来の受診をおすすめします。体外受精以外にも、例えば薬物治療があります。精子の数が少ない乏精子症の場合、内分泌療法と非内分泌療法に分けられ、一般的にビタミン剤や漢方を用いた非内分泌療法から始めることが多く、また治療と並行して亜鉛を含んだサプリメントもおすすめしています。内分泌療法の場合は、主にゴナドトロピン療法で治療します。精液検査は禁欲期間の影響が大きいため、一度だけではなく、複数回の検査が望ましいです。2~3回受けていただくと、精子の状態がよくわかります。



うめだファティリティークリニック 山下 能毅 院長

CLOSE UP 男性不妊外来もあり、泌尿器科の専門医が担当

当院は、開院当初から不妊専門の泌尿器科医である宮川先生、増田先生、福原先生の3名の専門医による男性不妊外来を開院し、良好な治療結果を残しています。男性が少しでも受診しやすい環境づくりを心がけており、男性不妊外来を女性外来とは別フロアにし、男性専用の待合室を設置して診察を行っています。無精子症の最新治療である「マイクロテセ」も導入しています。

- 毎週 木曜日 夜診(17時半~19時半)
- 毎月 第1土曜日 17時~19時
- 毎月 第3土曜日 13時半~15時半

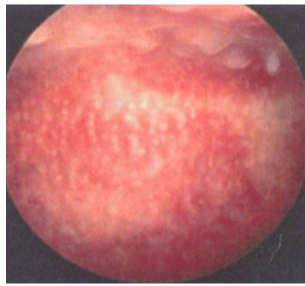
不妊治療専門クリニック 医療法人聖誕会 うめだファティリティークリニック (旧宮崎レディースクリニック)

大阪市北区豊崎3-17-6
診療時間 / 9時~12時、13時~15時半、17時半~19時半

(※火曜午後14時~、木曜午後13時半~)
休診日：日曜、祝日、土曜の夜診
地下鉄中津駅下車 3番出口より徒歩約1分
阪急梅田駅茶屋町下車 徒歩約5分

☎06-6371-0363
http://umeda-fc.org

※当クリニックは、特定不妊治療助成事業の「指定医療機関」です。



慢性子宮内膜炎の子宮鏡所見。痛みを感じないで自覚症状がなく、気づいていない方も多くいらっしゃいます。

リラックスできる雰囲気大切に



待合室



診察室

何度も良好胚を移植してもなかなか着床しない「反復着床不全」の原因は、胚自身の問題以外に、子宮側の問題、胚に対する免疫寛容の異常などが考えられます。当クリニックでは子宮側の問題に対する検査として、最新のERA検査で最適な着床時期を診断する方法に加え、子宮鏡検査をおすすめしています。子宮鏡検査で発赤した子宮内膜といくつもの白斑が診られる「子宮内膜炎」や、子宮底部のみならず、卵管

口周囲にできた微小な「子宮内膜ポリープ」は不妊症との関連性が報告されています。治療としては、内膜炎は抗菌薬の投薬で、ポリープは子宮鏡手術で切除を行います。また、「免疫寛容の異常」とは、人間には2つの免疫細胞（Th1/Th2）があり、そのうちのTh1細胞が優位な上昇が認められる場合やNK（ナチュラルキラー）細胞活性の異常増加がある場合、胚を異物として捉え、着床を拒絶してしまうというも

反復着床不全の方は「子宮内膜炎」や「免疫寛容の異常」の有無を確認しましょう。このように当クリニックでは、ご夫婦の症状に応じて、いちばん良い選択をオーダーメイドのように選んでいただくために、最新の設備と医療技術を整えています。私たちと一緒にがんばってみませんか。

反復着床不全の方は「子宮内膜炎」や「免疫寛容の異常」の有無を確認しましょう



うめだファティリティークリニック 山下 能毅 院長
大阪医科大学医学部卒業(医学博士)。日本産婦人科学会認定医、生殖医療専門医。大阪医科大学産婦人科学講師を経て、うめだファティリティークリニック副院長就任。平成29年4月に院長就任。



一人ひとりに寄り添う親身な治療 本来持つ「妊娠力」を取り戻す

自らも病気で悩み、漢方で克服した経験から「他の苦しんでいる人にも漢方を知ってほしい」と、この道へ進んだ西口先生。「知らない方が意外と多いのですが、不妊症と漢方との相性は驚くほど良いんです。食生活や生活習慣の乱れなどで、身体の準備が整っていない方が多く、漢方では妊娠できる体に準備を整えてあげることができます」と西口先生。女性に本来備わる「妊娠力」を高める漢方の力で、長年不妊に悩む人が授かった例も多数。まずは気軽に相談を。

喜びの声

- 女性ホルモンの値が悪かったけど5ヶ月で妊娠 2年不妊で病院から女性ホルモンの値が良くないと言われ、タイミング療法で妊娠に至らず相談に。他にも月経痛やめまいなどの不調があり、「脾」と「腎」を温める漢方薬と女性ホルモンのバランスを整える漢方を処方して5ヶ月後に妊娠しました。(30代女性)
- 染色体異常など卵の質を上げて6ヶ月で妊娠 過去2回体外受精をしましたが、着床後に受精卵が育たず、心拍が確認されませんでした。これは染色体異常など卵の質が関係するようで、質を良くするために、半年間「腎」を強くし、気血を補う漢方を服用。その後40代という年齢を考え最後の体外受精で見事妊娠しました。(40代女性)

春風漢方薬局

豊中市寺内2-2-22
シャトーエデン109
営/月~金 9時~19時半、土 9時~18時
日曜・祝日定休
「予約制につき、電話でご予約を」
☎06-6151-2491
春風漢方薬局 で検索



薬剤師・国際医師の資格を持つ井上先生夫妻。相談は予約制のため落ち着いた相談できる。



統合医療生殖学会学術理事の貴文先生。不妊治療の勉強会では講師を務める。

漢方薬局 柚花香房

吹田市山田西3丁目57-20 ビアハルス王子101
営 / 平日9時~19時、水曜9時~13時、土曜9時~17時
日・祝日休 P2台あり
※4/30~5/2は営業
☎06-6816-9677
漢方相談は電話でご予約を
http://wu-xiang-dou.co.jp
柚花香房 で検索



「何をすればいいかわからない」 悩む貴女を妊娠に導く子宝のかけこみ寺

煎じ薬、粉薬の調合も行う北摂でも数少ない漢方専門薬局。子宝相談は評判で同店の得意分野。とりわけ内膜や卵の質の分野では噂を聞き、東海や関東からも来局される。高齢の方も多く、妊娠した3人に1人が40代という。細かく時期や体調を見ながら、「今」必要な漢方で体を整えていく。精子数、運動率の改善実績も豊富で、自然での妊娠を希望されている方にも心強い。



数多くの妊娠実績あり。喜びの声など、詳しくはHPで。

喜びの声

- 二人目が授からず体外受精をするも陰性が続いていました。卵が原因だろうとこのことで質を良くする漢方を処方してもらいました。体が元気になっていく中、いい卵も採れ始め、PGSにて染色体に異常のない卵も採れました。移植し無事妊娠。もうすぐ出産を迎えます。(池田市 40歳)
- 多嚢胞性卵巣症候群で体外受精を繰り返し、着床はできても妊娠しませんでした。卵の質をよくできれば自然でも妊娠できると言われ治療をお休みして漢方でチャレンジしました。周期はバラバラでしたが教えてもらったやり方でちゃんと妊娠。今まではなんやったんやろうという気持ちです。(箕面市 31歳)